

## 教科書から発展させるコミュニケーション タイプのクラス活動の試み

堀 歌 子

### 1. はじめに

日本語の授業において、場面、文脈の中で新しい語彙や文型を習得させることを意図して作られた教科書を使用した場合、各課の授業形式は一般的に「復習」→「新しい文法・文型の提示・導入」→「機械的な練習」→「応用練習」→「本文読解・聴解」→「確認」といった教室活動の組み立てでなされているようである。

従って学習者は各課でどのような文型・文法事項を学ぶのかについては具体的に知らされ、口頭練習によっても徹底的に形を教え込まれる。しかし文型を理解し、表現文型練習ができて現実の生活場面でその文型を使って何ができるのか、どのような話題について話せ、意志の疎通ができるのかに関してはあまり授業では取り入れられていない。

このことは1970年代以後の言語学習に対する考え方の流れがより実際の言語使用、すなわち言語表現をそれを含む言語環境から切り離すことなく言語をコミュニケーションの道具として教えることに重点が置かれるようになってからは一層クラス活動の中の弱点として指摘されることが多い。これらの弱点と言われている所の言語を運用する能力を養うには、文法・文型積み上げ式の教科書一冊に全てを依存した教室活動だけでは不十分であり、何らかの補足がなければ学習者中心の活気に満ちたクラスづくりはあまり期待できないのではないと思われる。

伝統的と言われる構造シラバスの教科書の良さも生かしながらなお且つ時代の変化、特に話し方教育の変化に対応できる学習者のニーズにあった授業を目指し、積極的な学習参加へと導く興味と意欲の沸く教室活動にするにはどのようなことが考えられるのか。次に幾つかの試みを具体的に述べさせていただく。

## 2. 機械的なドリルからの発展

例 1. 名前をお願いします。

例 2. もしもしゲーム

既習の文法・文型事項のドリルをしながらクラス全体のコミュニケーションを図る。

例 1. 名前をお願いします。(クラス全員)

歌舞伎を見たことがありますか。

ここでは経験を問う「～たことがある。」の練習として各自、例1のタスクシートを持ち教室中聞き回り、「はい」の答えの人を見つけ名前を書き入れる。制限時間を設けて競い合うのも楽しい。終了後はだれがどんな経験をしたかを教師は学習者から聞き出す。その後、各自の楽しかった経験を話させ宿題としてその文を書く。注意点は動詞「た形」の言い方が不正確にならないように気を付ける。

例 2. もしもしゲーム(クラス全員)

今朝一番早く教室へ来た人はリーさんです。

ここでは連体修飾節の使い方の練習として連体修飾語(句)+名詞(人)の形の文を読み、それを素早く二人称の疑問文に変え、例1と同じ要領で聞き合いタスクシートに名前を書き入れて行く。その時、最初の話し掛けとして「あのう、すみませんが、今朝一番早く教室へ来ましたか。」というように問いかけ、答えが「はい」でも「いいえ」でも「ありがとう」と言って次の人に移って行く。

終了後は再び連体修飾文で「自転車に乗れない人は～さんと～さんと～

[例-1. タスクシート]

- 「～たことがありますか」を聞いて質問しましょう。
- 「はい。～たことがあります」と答えた人の名前を( )に書いてください。
- 同じ人に続けて質問をしないでください。

 ( )	溜 溜 突 突 ( )	 ( )	アルバイト する ( )
ヨーロッパ 行く ( )	 猫 ( )	狩 獵 犬 まう ( )	 ( )
 ( )	ドリアン 食べる ( )	 ( )	歌舞伎 見る ( )

さんです。」のように全員で確認する。また学習者に質問事項を考えさせるのも一つの方法である。

クラス全体でのコミュニケーション活動は普段接触のない学習者同士を話させる機会にもなり、また時間を区切ることで早くしなければという意識が自然に発話を活発にし、同じ文型を何回も練習しているという意識を薄れさせ、タスクシートが完成するころにはその文型がほとんど定着している。タスクシートの準備だけでいろいろな文型練習に応用できる。

## [例 2 タスクシート]

### もしもしゲーム

- 1 今朝一番早く教室へ来た人はだれですか。
- 2 お兄さんが一人と妹さんが一人いる人はだれですか。
- 3 自転車に乗れない人はだれですか。
- 4 おふろさんに行ったことがある人はだれですか。
- 5 さいふの中に500円玉が一枚入っている人はだれですか。
- 6 クラシック音楽をときどき聞く人はだれですか。
- 7 ワープロがうてる人はだれですか。
- 8 朝ごはんを食べないで来た人はだれですか。
- 9 バスに乗って来る人はだれですか。
- 10 「愛より強いものはない」と信じている人はだれですか。

## 3. 与えられた語彙・文型を使って文を作る練習からの発展

例 3. グループ名はリンドン?

例 4. 背中で話そう

ゲーム的要素を取り入れ、文を作り書く作業を楽しくする。

### 例 3. グループ名はリンドン?(グループ)

練習帳などにはたいてい「次の文を正しい文にしなさい。」と語順を入れ替える練習問題が出ている。外国学生用「日本語教科書初級」早稲田大学(以後<早稲田>と略す)には練習帳5課に次のような練習が載っている。[例3]、この種の練習は比較的習熟度の低い学習者にとっては苦手意識が出るようである。そこでまずクラスを幾つかのグループに分け、グループごとに例えば、「ドンドン」とか「カンカン」とか音を表現したグループ名を付けさせる。

[例 3 練習問題]

5 課 こんどの日曜日

II 正しい ぶん に しなさい。

(Rearrange each of the following groups of words to make a Japanese sentence.)

- 1 新宿、わたし、と、は、へ、スミスさん、いつも、いっしょに、行きます
- 2 どこ、先生、行きます、へ、か、は、あした
- 3 へ、あなた、は、アメリカ、か、かえります
- 4 つかれます、は、ときどき、か、あなた
- 5 さんぽします、ぐらい、か、は、あなた、まいにち、なんじかん

教師は問題を一文ずつ提示できるように準備して置く。(OHP を利用するのも良い方法である)一つの問題が OHP または黒板に示されると一斉にグループごとで話し合い、正しい文ができると、各グループ名として付けられている音を大きな声で言う。教師は一番早く発せられた音のグループを指名し答えを言わせる。全問題が口頭で言い終わってから各自書く作業に入る。

教室のあちこちから聞こえてくる“リンドン”“カンカン”“ブーブー”と言う音に笑い声も響き夢中で文作りを競い合っている内にかなりのドリルができ、グループワークを通して低い学習者の理解も促進できる。

例 4. 背中で話そう(クラス全員)

その課で覚えさせたい文法・文型を取り出しタスクシートを作る。例えば〈早稲田〉23 課は文型として

A と B とどちらが好きですか。

A より B のほうが好きです。

A も B も同じぐらい好きです。...

この課では二つの事柄の比較や三つ以上、またはある範囲の中から一つを選ぶ言い方、人の好き嫌いを表す言い方など内容的には難しくないので練習が単調になり易い。そこで例4のタスクシートを学習者全員の背中にセロテープで留めさせる。用意ができれば一斉にパートナーを見つけて背中の問題を一問質問してもらう。質問者はタスクシートの言葉を質問文に直し、「あなたは猫と犬とどちらが好きですか。」と聞き、答える方は「私は犬より猫のほうが好きです。」と文で答える。その答えを聞いて質問者は相手の背中のタスクシートに「猫」と書く。今度は反対に質問者が入れ換って同じ要領で書く。質問はどこから始めても良いがお互いに一問終わ

[例 4 タスクシート]

齊声ではなそう

次の言葉を使って質問しましょう。

- 1 ねこと犬 (好き) \_\_\_\_\_
- 2 テストと宿題 (きらい) \_\_\_\_\_
- 3 料理とそうじ (じょうず) \_\_\_\_\_
- 4 豚肉、とり肉、牛肉 (たかい) \_\_\_\_\_
- 5 テレビ、ラジオ、映画 (おもしろい) \_\_\_\_\_
- 6 ひらがな、カタカナ (むずかしい) \_\_\_\_\_
- 7 スポーツ (一番好き) \_\_\_\_\_
- 8 お金、ピアノ、車 (ほしい) \_\_\_\_\_
- 9 お父さん、お母さん (やさしい) \_\_\_\_\_
- 10 地震、かみなり、火事 (こわい) \_\_\_\_\_



ったらパートナーを代える。全部答えを書いてもらった人は着席し、完成文に書き直す。

背中に字を書き合うという遊び感覚でしっかりと文型表現練習ができ、口頭練習から書く作業へと持っていくことができる。

#### 4. 教科書本文読み教材からの発展

例 5. みんなで気をつけましょう。

実生活の場面を提示することにより、自然な言語環境に引き入れ、発話量を増やし表現力を養い成就感を味う。

例 5. みんなで気をつけましょう。(ペア)

〈早稲田〉 26 課「試験」本文に「注意を言いますから、よく聞いてください。」

一、最初に番号と名前を書いてください。

二、必ずインクで書いてください。

三、ほかの人と話してはいけません。...

と続く文があり、この課では「～てはいけません。」「～でもいいです。」が取り上げられている。これらの文型が日常の生活場面でどのように使われ

[例 5 注意書き]

## 注 意

ごみの日は 火、木、土 です。

火曜日、木曜日、土曜日はごみを出してもいいです。

月曜日、水曜日、金曜日、日曜日はごみを出してはいけません。

燃えるごみ(紙くずや生ごみなど)と燃えないごみ(プラスチックや空きびんなど)はいっしょに捨てないでください。

みんなで気をつけましょう

〈アパートの管理人より〉

○ 次の中から1つ選んで注意を書きましょう。

美術館の館長	コンサートホールの係	図書館の館長
幼稚園の園長	マンションの管理人	アパートの大家
日本語学校の校長先生	バスの運転手	本屋の店主
地下鉄の運転手	スーパーの店長	デパートの社長
歯医者の院長		

ているかを示し、他人に注意をしたり許可を求めたり、与えたり色々な場面に応用する練習として、また読む、書く、聞く、話すの統合的教室活動の効果的方法として、教師は「私のアパートにこんな張り紙が張ってあるんですよ。」と例5の注意書きを渡し読ませる。更に「あなた方の住んでいる所はどうですか。」と話題を学習者の身の周りへと導く。

学習者からいろいろ「～してもいいこと」や「～してはいけないこと」など話が出てから、次にペアを組ませ二人で相談して例5の下の部分に書いてある職業を一つ選ばせ、自分達はその立場だったらどのような事を注意したり許可したりするか話し合わせ、最後に注意書きとしてまとめて書





## 注意

おやしう  
スアワニー  
6月6日

マリファナ 禁煙です。

カメラを持って入ってはいけません。  
テーパーにとめないで下さい。

物をなげ"てはいけません。  
バックステージに入ってはいけません。  
スラム ダンジングをしないで下さい。  
あばねないで下さい。

みんなて"氣をつけます。

コンサート ホールの係



## 注意

ギルバート  
アレン

幼稚園の子供たちへ

幼稚園の中で靴をはいてはいけません。  
スリッパにははかなくて下さい。  
書く時に左手で書いてはいけません。右手で書いてはいけません。空は青い。  
クレヨンで色づけて下さい。  
草はみどり。サクラソボは赤。  
赤いおわらきを手を洗ってください。

<幼稚園の園長より>

かせる。

全てのペアが書き終えたら口頭で発表させ後に教室の壁などに張る。教科書で習った事が現実の社会生活の中に溶け込み、擬似とは言え、職業を選択する自由も、何を禁止するかのも自由も学習者側にある。またそれらが壁に張られることで達成感も味い教科書から発展した生き生きとした教室活動となる。




## 5. 会話練習からの発展

### 例 6. 映画館の前

会話文の完成を目指しながら、異文化における非言語コミュニケーションの相違を認識させる。

#### [例 6 会話の枠組]

異文化コミュニケーション

○ 女性は時計を何度も見ています。もう40分待っているのです。  
そこへ男性がハーパーしながら走ってきます。

男性: (頭をかきながら) あやまる。  
: \_\_\_\_\_

女性: (怒った顔で) 理由を聞く。  
: \_\_\_\_\_


男性: (怒った顔で) 理由をいう。  
: \_\_\_\_\_

女性: (うなずいて) この次は遅れないようにという。  
: \_\_\_\_\_

男性: (ホッとした顔で) 次の映画が始まるまでお茶を飲もうとさそう。  
: \_\_\_\_\_

女性: (うれしそうに) ○にする。  
: \_\_\_\_\_

○ 二人は肩をくんで歩いて行きます。



#### 例 6. 映画館の前(ペア)

会話の練習では一般的に反復練習・暗記、ロールプレーなどの教室活動が行われているが、学習者の自由なコミュニケーション能力を育てる練習として絵や会話の枠組を与える方法は、目的がはっきりしていて会話が作り易いだけでなく、実際の会話では話し手の表情や身ぶり、しぐさなど全てが言葉と共に意味を伝えていることも理解させられる。

例6はペアで与えられた会話の枠組に添って自由に会話を完成させる練習だが、枠組に取り入れた“頭を書きながらあやまる”などは日本的であり、国によって謝り方の程度の違いなど異文化間の比較も良い言語材料となる。また対人関係、場面を変えることによって何通りもの会話練習が楽しめる。

#### 6. おわりに

以上、日頃実際に教室活動として効果的だった練習の一部を簡単に述べさせていただいた。何よりも学習者と一緒に授業を楽しみたいという発想から出ているので独り善がりな点もあると思うが、これからの課題として更に教科書を生かした使い方を工夫し、正確さプラス場面・話題、人間関係にふさわしい言語運用能力を習得できる機会をできるだけ学習者に教室活動を通して与えられるよう努力して行きたいと思う。

#### 参考文献

- 日本語教育の教材(1989) 岡崎敏雄 アルク社
- 新しい外国語教授法と日本語教育(1989) 高見澤孟 アルク社
- 言語習得と英語教育(1987) 田中春美他 ELEC
- 自ら学ぶ力を育てる英語授業(1989) 松畑照一 研究社出版

#### 参考教材

- 外国学生用日本語教科書初級 早稲田大学日本語研究教育センター